

はばだけ!  
JTサンダース



堀田晋一朗

広島東洋カープなら昨季引退した新井貴浩さんや石原慶幸選手、サンフレッチェ広島では青山敏弘選手や林卓人選手。団体競技では、ここ一番の大勝負でチームの精神的支柱となる存在が欠かせない。数々の成功と失敗から学んだ経験が大きな武器となる。

現在のJTサンダースの精神的支柱はセッターの深津旭弘選手とミドルブロッカーの笥本翔昂選手。今回は笥本選手について熱く語りたい。



チームの精神的支柱である  
笥本選手②

## ベテラン笥本 心の支え

江田島市出身の31歳。「トップレベルの指導者に教えてもらいたい」と地元切串中のバレーボール部には所属せず、サンダースが運営するトップス広島バレーボール学校に入校し、毎週フェリーに乗り猫田記念体育館（広島市南区）に通い続けた。

その努力が実を結び、強豪神辺旭高へ進学。寮生活を送りながら厳しい練習に明け暮れた。この経験が自身の礎となつているという。東亜大を経てJTに入社。過去には日本代表に選出されるなどチームに欠かせない存在となつた。現在は若手の台頭やチーム戦術で出場機会は限られる。

だが要所でチームを引っ張るのはこの男だと見ている。ウォミングアップから一番大きな声を出し、試合直前の控室でチームを最高潮に盛り上げるのが必勝ルーティン。その模様の動画をサンダース公式ツイッターで紹介している。

優勝を目指すのに若手の勢いも大切だが、チームに安心と安定をもたらすベテランの存在も欠かせない。大きな体とそれに負けないくらいサンダースを愛する笥本選手がチームを鼓舞する姿を会場でご覧いただき、大きな声援を送ってほしい。（JTマネジャー）